

令和5年度事業計画 ～皆様が安心して暮らせる街づくりを目指します～

～基本方針～

本会は、「第2次大川市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本理念である「みんなで支え合う笑顔あふれる地域共生社会大川」の実現に向けて、また、国際的な目標であるSDGsの目指す「誰一人取り残さない」社会を目指すために、地域住民や関係機関と連携し、地域福祉につながる事業を積極的に推進していきます。

重点目標と取り組み

住民主体の持続可能な「地域の支えあい、見守り活動」事業推進

高齢者の支えあい・居場所づくり・外出支援・多世代交流事業を、大川市老人クラブ連合会、大川市民生委員児童委員協議会、市内社会福祉法人等関係機関の社会資源も活用し、地域のニーズに沿った形で、住民主体による持続可能な支えあい、見守り活動事業を推進し、いつまでも住み慣れた地域で安心して生活できる住民主体のまちづくりを目指します。

包括的相談支援体制の充実・強化

近年深刻化する少子高齢化や核家族化、地域とのつながりの希薄化等の影響により、住民の抱える課題は複合化・複雑化しています。それによりどこに相談してよいか判断に苦慮するケースが存在します。そのため本会に相談窓口を設け、あらゆるサービスの調整が可能になる包括的相談支援体制の充実・強化を図ります。

障がい児・者団体等の交流事業の推進

市内の障がい者やその家族の団体と個人が相互につながり合う場を提供することにより、お互いの「見える関係」を構築し、そのような方々が積極的に社会に参加できるまちづくりを目指します。併せて障がいに対する正しい理解を促進するため、福祉学習や啓発活動を積極的に行い、差別や偏見のない福祉のまちづくりを目指します。

財政基盤強化事業の推進

本会の地域福祉事業の主な財源は、香典返しや一般寄付からなる自主財源と赤い羽根共同募金からの配分金に支えられています。そのため、地域福祉活動への理解と住民相互の支え合いを基盤とした地域づくりの必要性を積極的に情報発信しながら、財源の確保に努めていきます。また、生活困窮世帯支援のため、食品ロス問題や社会貢献に力を入れている企業や団体と相互に協力し合える関係性の構築を図っていきます。

令和5年度大川市社会福祉協議会予算概要

(単位:千円)

拠点区分		金額	
①	法人運営事業	37,050	
②	善意銀行運営事業	8,915	
③	共同募金配分金事業	高齢者福祉活動事業	2,386
		障害児・者福祉活動事業	189
		児童・青少年福祉活動事業	1,531
		ひとり親家庭福祉活動事業	358
		福祉育成・援助活動事業	1,952
		歳末たすけあい配分金事業	700
④	生活福祉資金貸付事業	850	
⑤	生活支援バス運行事業	20,440	
⑥	高齢者支援事業	32,069	
⑦	地域生活支援事業	18,350	
⑧	子育て支援事業	8,539	
合計		133,329	

支出予算 133,329千円

